

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年1月16日～2017年1月22日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年1月24日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【南オセチア】

▼南オセチア国会選挙の日程(17日)

・「南オセチア共和国議会」は「南オセチア共和国大統領選挙」を2017年4月9日に実施することを決定。ティビロフ「現南オセチア共和国大統領」は2期目を目指して出馬する意向。ビビロフ「南オセチア共和国議会議長」がティビロフ「大統領」の有力な対抗馬になると見られている。ココイティ「元大統領」(2001年～2011年)も立候補するとの報道もある。

・「大統領選挙」と同時に、「南オセチア」から「南オセチア・アラニア」への改称に関する住民投票も行なわれる可能性がある。

▼IPRM会合(18日)

・第73回IPRM会合がエルグネティで行なわれた。参加者は行政境界線付近の状況を安定的と評価。拘束事案、犯罪に関する情報の交換、行政境界線付近での軍事演習に関する事前の通報などについて議論。

2. 外 政

▼欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣のNATO本部訪問(17日)

・ブリュッセルにてドリゼ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣がストルテンベルグ NATO 事務局長と会談。欧州・欧州大西洋統合担当省によれば、「双方はジョージアのNATO加盟プロセスおよびジョージアとNATOとの今後の協力について議論した。会談の出席者は加盟プロセスが進展しつつあり、2017年もその動きが継続すると述べた」。

・会談後、「ド」欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣とドンドゥア外務次官はNATO・ジョージア委員会に出席。「ド」外務次官は黒海地域およびその周辺の安全保障状況に関するジョージア側の考えを説明し、NATO・ジョージア間で進められている戦略的議論の重要性を強調。

「ス」NATO 事務局長は「新たな課題に対応するためNATOは黒海地域でのプレゼンスを強化している」と述べた。

▼首相がスペインを訪問(18日)

・クヴィリカシヴィリ首相がスペインを訪問。スペインの国王フェリペ6世、ラホイ首相らと会談。リファイ国連世界観光機関(UNWTO)事務局長らとともに2017年の持続的な観光発展の国際年に因む催しに出席。

・「ラ」スペイン首相との会談では、ジョージアのEU・

NATO加盟、二国間の貿易・経済関係などについて議論。観光分野におけるスペインの成功の経験の共有および共同プロジェクトの実施の重要性が強調された。

▼ヴェニス委員会委員長のジョージア訪問(18日)

・ブッキオ欧州評議会ヴェニス委員会委員長がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、ツルキアニ法相、野党関係者らと会談。

・会談後、「コ」国会議長は、憲法改正のプロセスにおける協力について合意したとして、ヴェニス委員会からの助言は国内で十分に考慮されると強調した。「ブ」委員長は、現在の憲法は国際的な基準に合致する良いものであるが、改善の余地があると述べた。

▼NATO軍事委員会におけるジョージアに関する議論(19日)

・NATO 軍事委員会は、国防改革およびNATO・ジョージア実質的パッケージの実施における進展について議論。チャチバイア・ジョージア軍統合参謀長が出席。パヴェル軍事委員会委員長は、Resolute Support ミッションへのジョージアの重要な貢献を讃えつつ、ジョージアとの密接な協力を約束した。

▼首相がダボス世界経済フォーラムに出席(19日～20日)

・クヴィリカシヴィリ首相がダボス世界経済フォーラムに出席。ジャンネリゼ外相およびガハリア経済・持続的発展相が同行。

・ダボスにて、「ク」首相は、ロイトハルト・スイス大統領、ポロシェンコ・ウクライナ大統領、ヴチッチ・セルビア首相、プレンコヴィチ・クロアチア首相、チャクラバルティ欧州復興開発銀行(EBRD)総裁、Microsoft、BP関係者らと会談。

・「ロ」スイス大統領との会談では、貿易・経済、観光、教育などの分野での二国間協力や山岳地域の開発におけるスイスの経験の共有の重要性、対露関係、被占領地域の状況などについて議論。「ロ」スイス大統領は、ジョージアを「地域における安定化の力」と呼んだ。

・「チャ」EBRD総裁は、ジョージアとEBRDとの関係は極めて良好であるとして、2017年中にEBRDがジョージアに対し約3億ユーロの投資ができるよう期待していると述べた。

・「ガ」経済・持続的発展相はカサビ・サウジアラビア商業・投資相、アルターニ・カタール経済・商業相、ナシリ・エジプト国際協力相らと会談。

3. 内 政

▼米国際民主研究所による世論調査(16日, 18日)

- ・米国際民主研究所 (NDI) が2016年11月4日から12月4日にかけてジョージア国内のさまざまな地方に暮らす3,141名を対象に実施した世論調査の結果を発表。
- ・ジョージアは「正しい方向に進んでいる」32% (前回25%), 「変わっていない」36% (前回34%), 「誤った方向に進んでいる」27% (前回33%)。
- ・2012年10月以降, 自身および家族の暮らし向きは「良くなった」17% (前回17%), 「変わらない」56% (前回51%), 「悪くなった」26% (前回32%)。
- ・国の最も重要な問題 (3つまで回答) は, 雇用 58%, インフレ 38%, 貧困 30%, 領土一体性 27%, 年金 24%。
- ・EU加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」72% (前回72%), 「不賛成」18% (前回16%)。
- ・NATO加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」61% (前回64%), 「不賛成」25% (前回22%)。
- ・ジョージア外交は「欧米志向であるべきだ」12% (前回13%), 「欧米志向でありながら, ロシアとも良い関係を維持すべきだ」54% (前回48%), 「親露志向でありながら, EU・NATOとも良い関係を維持すべきだ」18% (前回20%), 「親露志向であるべきだ」9% (前回6%)。
- ・自身に最も近い党はジョージアの夢・民主ジョージア党 40% (前回19%), いずれの党でもない 22% (前回27%), 統一国民運動 10% (前回15%), 分からない 5% (前回10%), ジョージア愛国者連合 3% (前回5%), 自由民主主義者党 3% (前回4%)。
- ・2016年10月の国会選挙での投票において最も重視した党の政策分野は, 経済 39%, 医療 16%, 国の安全保障 10%, 外交方針 9%, 法の支配 8%。

▼統一国民運動の党大会(20日)

- ・統一国民運動 (UNM) が党大会を開催し, 新しい政治委員会の委員 60名を選出。メリア議員が委員長に就任した。党大会には全国から7千人以上が参加。
- ・サーカシヴィリ元党首が帰国できるようになるまで, 党首を決定しないことで合意。「サ」元党首は滞在中のワシントンから中継で演説した。

4. 経 済

▼2016年12月の国際送金(16日)

- ・国立銀行の資料によれば, 2016年12月の外国からジョージアへの送金額は119.0百万ドル (315.4百万ラリ)。前年同月比 16.7%増。送金元の国別では, 金額の大きい順に, ロシア 34.9%, 米国 11.9%, イタリア 10.3%, ギリシャ 10.0%, トルコ 7.0%, イスラエル 6.0%。EU諸国から

の送金が30.1%を占める。

- ・2016年10月のジョージアから外国への送金額は18.2百万ドル (48.3百万ラリ)。前年同月比2.2%増。

▼中国企業によるポティ自由工業地域のシェアの獲得の可能性(16日)

- ・ジョージアを訪問した Zhang Yuzhuo 中国華信能源有限公司 (CEFC China Energy Company Limited) CEO とガハリア経済・持続的発展相が「新シルクロード構想の強化」に関する覚書に署名。ジョージア経済・持続的発展省によれば, 「覚書は中国によって始められた一路一帯プロジェクトの枠内で署名されたもので, 同プロジェクトにおける優位性のあるルートの共同開発を目的とするもの」。署名式後, ガハリア経済・持続的発展相は, 覚書は一路一帯プロジェクトへのジョージアの参加の第一歩であり, ジョージアは地域における中国の最大の投資先とならねばならないと述べた。

- ・CEFCによるポティ自由工業地域の75%のシェアの獲得が検討されている。300万m²のポティ自由工業地域は, ジョージアで初めての自由工業地域として2009年に開設され, 2016年までアラブ首長国連邦の政府機関が設立した RAKIA Georgia Free Industrial Zone LLC が所有・運営していた。2016年に RAKIA は契約義務の不履行の罰金の代わりにシェアの85%をジョージア政府に返還した。

▼香港との自由貿易協定をめぐる協議(16日—18日)

- ・トビリシにて香港との自由貿易協定の締結を目指す第2回目の協議が行なわれた。

▼2016年12月の工業製品生産者物価指数(20日)

- ・国家統計局が発表。前月比 4.8%上昇, 前年同月比 7.5%上昇。

▼2016年の貿易統計(21日)

- ・国家統計局が2016年の貿易統計 (速報値) を発表。貿易額 11,966百万ドル (前年同期比20%増), 輸出額 2,114百万ドル (同4%減), 輸入額 9,852百万ドル (同27%増)。
- ・輸入相手国の内訳はEU諸国 27%, CIS諸国 35%。輸出相手国の内訳はEU諸国 31%, CIS諸国 20%。国別では貿易額の多い順にカナダ, トルコ, ロシア, アイルランド, 中国, アゼルバイジャン, ドイツ, ウクライナ, アルメニア, イタリア。
- ・日本との貿易高は輸出額2,673.2千ドル, 輸入額187,852.4千ドル。